

Berlin Report

December 2019

CONTENTS

- * Project 1: BRLO BRWHOUSE Brewhouse Restaurant
- * Project 2: Deutsche Spirituosen Manufaktur Pop-up Store

1. BRLO BRWHOUSE

Project Overview

ベルリン発のクラフトビール醸造所「BRLO」の醸造所兼ビアレストラン。2014年のスタート時は拠点を持たず、他のブランドの施設を借りて醸造していた彼らが、2016年に自前の設備を揃えて醸造を開始した。同時にその一角にビアガーデンを併設してつくり立てのビールを飲んでもらおうとしてつくられたのが、このコンテナ建築の「BRWHOUSE」だ。3~5年の期間限定の使用ということもあり、輸送用コンテナを使った簡易かつ解体、再構築が簡単な建築が提案された。28個のコンテナを使った建築の中の空間は、家具は全て分厚い木材を使用するなど、ドイツの伝統的なビール醸造所付きのレストランの雰囲気を取り入れつつも、チャコールグレイを基調にネオンのオブジェを配した今風のインテリアにした。少し高さを持たせてステージのようにしたゲストスペースからは、右手にキッチン、左手に醸造所のタンクを見ることができる。

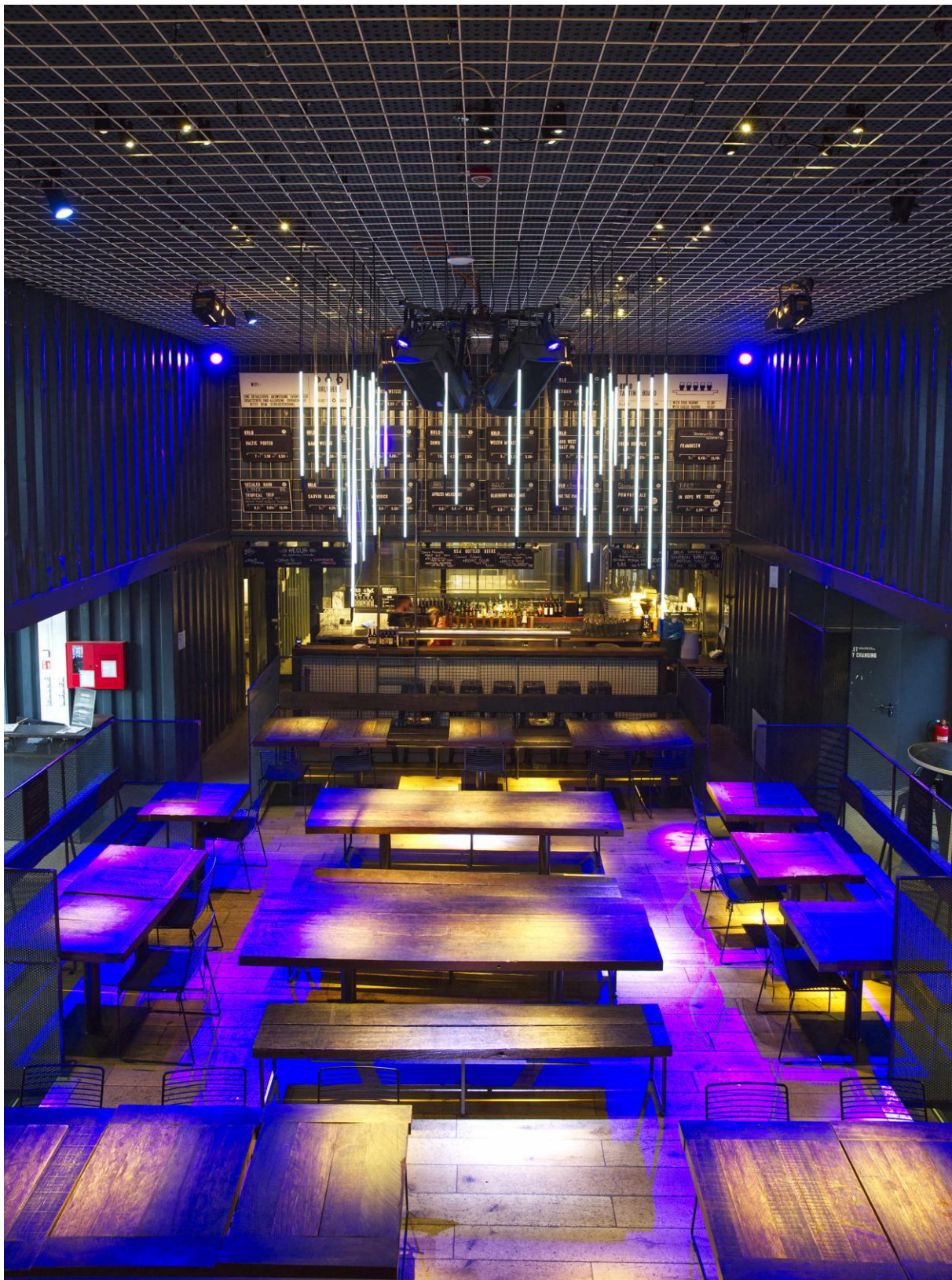
コンテナの壁を覆うように、壁や天井には金網をはり、間仕切りにも活用。日々変わるオススメのビールは金網にかけた黒板に書き込んでいく。駅のすぐそばで2つの地下鉄路線の高架橋が交差するという立地に映える、インダストリアルなインテリアだ。インテリアもさることながら、毎月のように異なる種類が登場する新鮮な自家製ビールの美味しさも特筆すべき点。ベルリン子はもちろん観光客も足繁く訪れる店なのだ。

Project Details

1. Type of Business : Brewhouse Restaurant
2. Open Date: 16/06/2016
3. Location: Schöneberger Strasse 16, 10963 Berlin
4. Size: Restaurant 120 seats / Biergarten 300 seats
5. Architect: Graft, Interior design: NOVONO

Location Map





コンテナを積んだだけのような外観からは想像ができない、広々とした空間が広がっている店内。
中央の客席はまるでステージのようにライトアップされ、両サイドの窓からはキッチンと醸造所のタンクを見ることができる。
ここで作っているものを飲み、食べているという実感が得られる、期待を盛り上げるつくりだ。
また客席に少し高さを持たせて、ガラスで仕切ることでサービス動線がスムーズになっている。



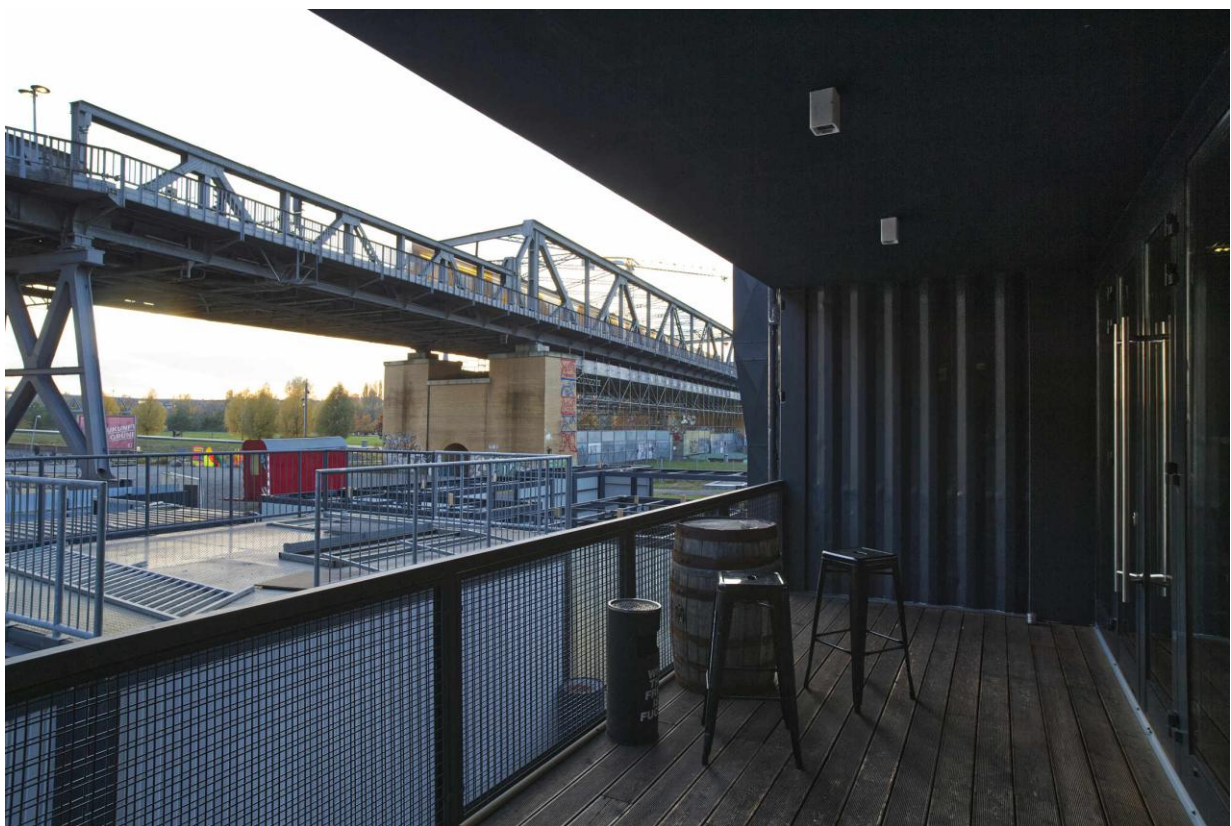
メゾネット状の2階席。天井は低いが、窓が大きく間仕切りも金網なので圧迫感はない。

ライトはLEDの間接照明と小さなスポットのみ。





コンテナを重ねた簡易な建物。手前はセルフサービスのビアガーデンで、客席の上に貼った網の上にホップを絡ませ日光を遮るつくり。
長いベンチやテーブルなどはドイツのビアガーデンの定番の形だが、全てチャコールグレーで統一。（夏のみ）



地下鉄の高架橋が交錯する公園のそばに 5 年前ほどにできた新興住宅地の一角にあり、周囲を遮る物は何もない。
2 階席の喫煙用テラスからは、高架橋が見える。

2. Deutsche Spirituosen Manufaktur Pop-up Store

Project Overview

2015年にスタートした「Deutsche Spirituosen Manufaktur ドイツ蒸留酒工房」。通常は市の中心部から離れた郊外にある工房でつくり、ドイツ各地の高級デパートなどに卸しているが、クリスマス商戦に向けてセレクトショップやバーなどが集まるミッテ地区のトーア通りに期間限定のポップアップストアをオープンした。

元は額縁屋だったという小さな店舗物件、3ヶ月弱という短い期間ということもあり、手間やコストを抑えつつも、ブランドの世界観に合う空間をつくり上げようと考えたという。インテリアを担当したのは、工房のファウンダーであるティム・ミュラーだ。

2つの蒸留機械を使って、ハーブやスパイス、フルーツ、きのこや秋の落ち葉（！）など、ありとあらゆるものからアロマと味を抽出した100種類以上の蒸留酒を揃える「ドイツ蒸留酒工房」。主役は、その幅広いラインナップ、ずらりと並ぶ、薬局風の茶色のボトルに入った蒸留酒だ。焼き仕上げした板を床にはり、同じく焼き仕上げした木箱を並べる。レジは古い自転車の上に一枚板を置き、照明は裸電球に銅のパイプとエアプランツを絡ませた。目隠しには真鍮の板を貼ったスタンド。インプロビゼーション感あふれる作りが温かみとクラフト感につながっている。

Project Details

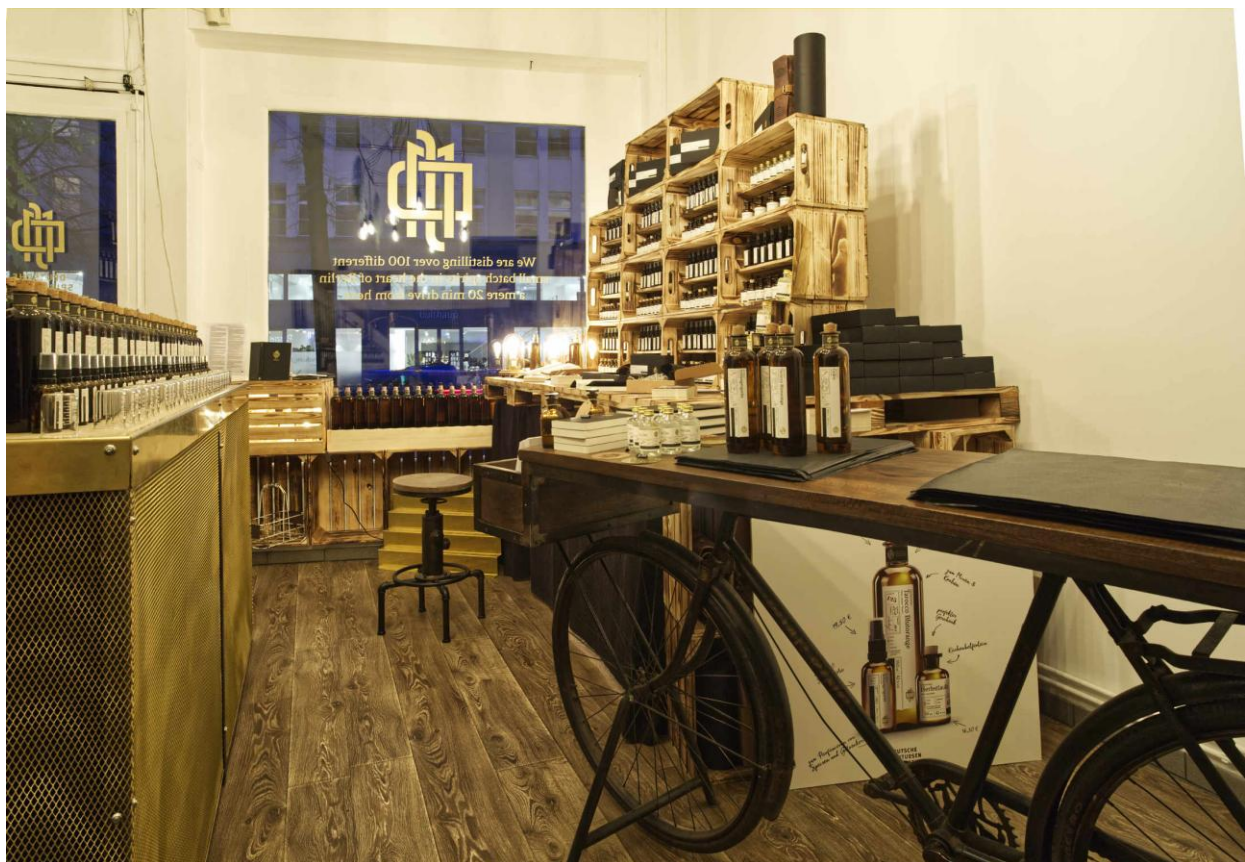
1. Type of Business : Pop-up Store
2. Open Date: 14/10/2019 – til 11.01.2020
3. Location: Torstrasse 141, 10119 Berlin
4. Size: 25 m2
5. Interior Designer / Architect: Tim Müller

Location Map





外観は、前の店のものをそのまま生かし、窓枠とドアの枠だけを黒く塗っている。

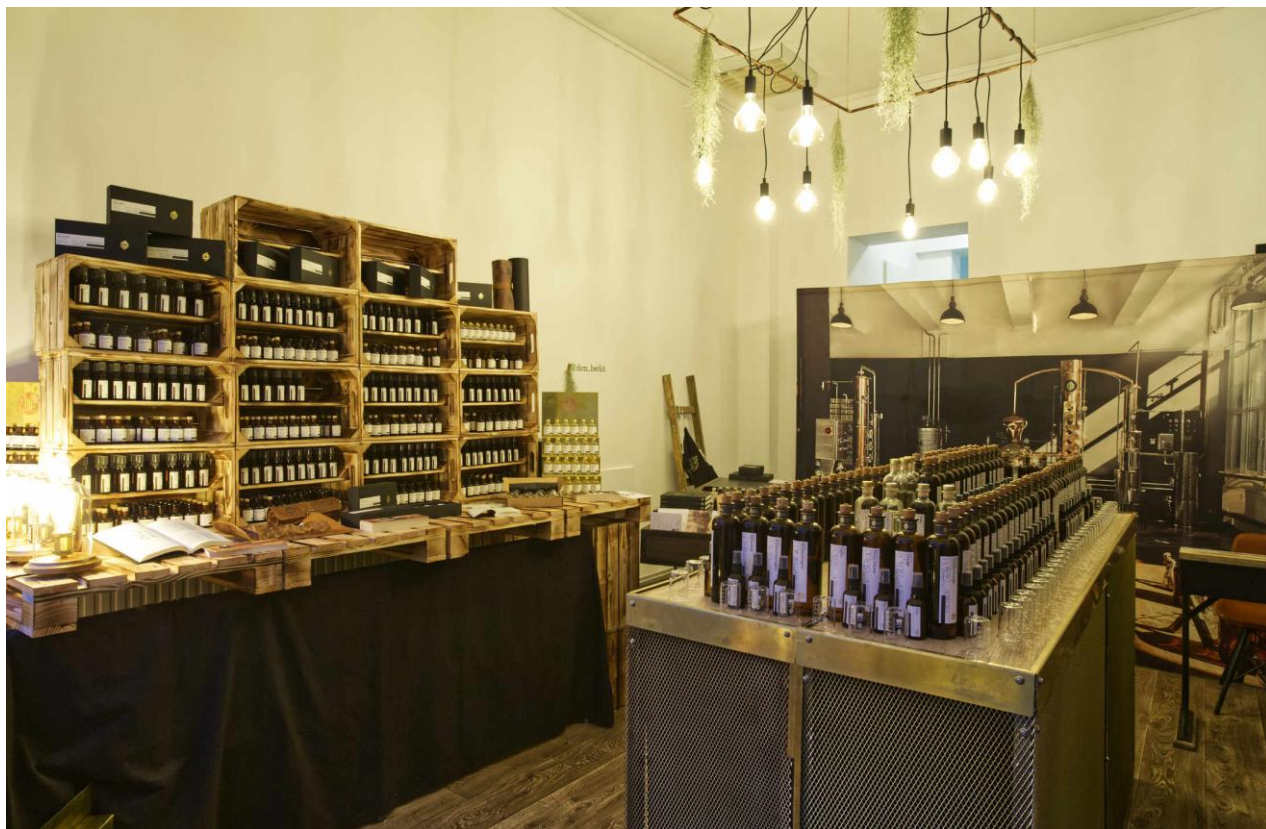


焼き仕上げしたフローリングや木箱がクラフト感を出すのに一役買っている。

古い自転車を改造したレジと梱包用のテーブルをアクセントに。色は黒と木、真鍮などの素材の色のみに抑えている。



焼き仕上げしたパレットを並べ、下は黒い布で目隠し。ポップアップらしい簡易な作りが素朴でブランドの雰囲気合っている。



主役はあくまでも 100 種類以上揃う蒸留酒のボトル。薬局で使うようなアンバーのボトルは木や真鍮に映える色合い。